

1. 情報専門学科
カリキュラム標準
J07 について

2. コンピュータ
科学領域
(J07-CS)

3. 情報システム
領域
(J07-IS)

4. ソフトウェア
エンジニアリング
領域
(J07-SE)

5. コンピュータ
エンジニアリング
領域
(J07-CE)

6. インフォメーション
テクノロジー領域
(J07-IT)

7. 一般情報処理教育
(J07-GE)

特集 情報専門学科 カリキュラム標準

Computing Curriculum Standard J07

J07



編集にあたって

Foreword

J07

兼宗 進 一橋大学

寛 捷彦 早稲田大学

本特集では、情報専門学科カリキュラム標準策定プロジェクト J07 について紹介する。

情報処理学会では、高等教育における情報専門学科のカリキュラム標準を策定する活動を行ってきた。近年では理工系学部情報系学科のカリキュラム標準として J90 と J97 を公開している。

一方、その後の 10 年間の変化を反映した新しいカリキュラム標準が求められてきた。具体的には、Web や携帯電話などネットワークを中心とした技術の発展と普及、IT 人材ニーズの多様化、各種情報関連学科の新設などが挙げられる。

米国では、IEEE-CS と ACM が共同してカリキュラム標準策定を進めている。2001 年に CS 領域に対するカリキュラム CC (Computing Curriculum) 2001 を公表して以降、2002 年には IS 領域、2003 年には SE 領域、2004 年には CE 領域、そして 2005 年には IT 領域と、標準カリキュラムを整備し、最終的に CC2005 を策定した。

このような背景を踏まえ、J07 プロジェクトは国内外の最新の状況に対応し、国際的な整合性を持った情報系専門教育カリキュラムを策定するために開始された。

本特集では、以下に紹介する内容で記事を構成した。各記事は内容を揃えるよう留意したが、分野ごとの特色を活かすために構成が異なっている部分もある。基本は各領域の知識体系 (Body of Knowledge) とカリキュラムである。

執筆者は、J07 プロジェクトにおける各領域の委員長や幹事を中心とした委員に依頼した。なお、CC2005 に含まれないものとして、J07 プロジェクトでは一般情報処理教育 (GE) に関するカリキュラム標準を含めている。

寛捷彦氏 (早稲田大学) の「情報専門学科カリキュラム標準 J07 について」では、J07 プロジェクトの背景を紹介している。J97 で策定したカリキュラムの概要と、CC2001 における CS, IS, SE, CE, IT の 5 領域の関係、JABEE をはじめとするア krediteーション委員会に

おける活動を解説した後、J07 プロジェクトの目的と体制、GE を加えた経緯、IEEE-CS への訪米調査、最終報告書について解説している。

疋田輝雄氏 (明治大学) の「コンピュータ科学領域 (J07-CS)」では、J90, J97 から続く CS 領域のカリキュラム標準の流れを概説し、策定した知識体系を紹介した後、米国 CC2001CS との比較を行い、授業科目例とその学年配置例を紹介している。

神沼靖子氏 (情報処理学会フェロー) の「情報システム領域 (J07-IS)」では、1970 年代から続く IS 領域のカリキュラム標準の流れを紹介した後、策定した知識体系とラーニングユニット、5 つのカリキュラムモデルを紹介している。

阿草清滋氏 (名古屋大学) らの「ソフトウェアエンジニアリング領域 (J07-SE)」では、社会における SE 領域の必要性和 ITSS, ETSS, UISS 等のスキル標準との関係を概説した後、J07-SE の基本的な考え方、策定した知識体系と科目例、科目の年次進行例を紹介している。

大原茂之氏 (東海大学) の「コンピュータエンジニアリング領域 (J07-CE)」では、CE2004 と我が国での CE 領域と組込み技術の必要性を概説した後、策定した知識体系と先修条件、カリキュラム構成例を紹介している。

駒谷昇一氏 (筑波大学) の「インフォメーションテクノロジー領域 (J07-IT)」では、IT 領域の社会的な必要性和求められている人材像を概観した後、策定した知識体系とカリキュラム例、履修時期例などを紹介している。

河村一樹氏 (東京国際大学) の「一般情報処理教育 (J07-GE)」では、国からの委託調査研究などを含めた一般情報処理教育の検討の流れと提案されたカリキュラム編成を概説した後、今回策定した知識体系を紹介している。

(平成 20 年 6 月 16 日)